

令和5年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果〔小学校〕

令和5年11月 能美市教育委員会

- 1 実施校・学年 市内8小学校 第6学年
- 2 実施日 令和5年4月18日(火)
- 3 実施内容 (文部科学省HPより引用)

(1) 教科に関する調査 国語, 算数

＜出題内容＞

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 質問紙調査(児童質問紙) 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等

4 注意事項

調査結果は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。

5 調査結果

(1) 教科に関する調査の状況 ※県平均・全国平均との比較

	県平均との比較	全国平均との比較
国語	同程度	やや上回る
算数	同程度	上回る

「上回る」	平均正答率と県・全国平均との差が、	5%以上, 上回る
「やや上回る」	〃	2%以上～5%未満, 上回る
「同程度」	〃	-2%未満～+2%未満
「やや下回る」	〃	2%以上～5%未満, 下回る
「下回る」	〃	5%以上, 下回る

【国語】

- ・成果：必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えたりすることができています。目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したものを選択することはできています。
- ・課題：情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することや、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

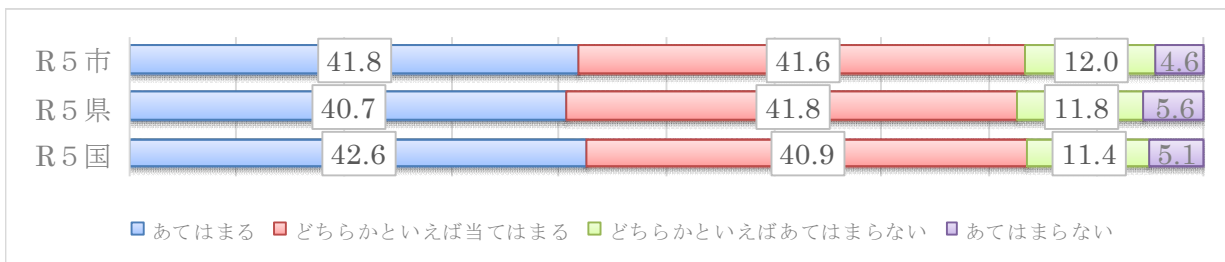
【算数】

- ・成果：式を日常生活に関連付けて読み取ることはできています。() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることはできています。正方形の意味や性質について理解することや、伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことはできています。
- ・課題：正三角形の意味や性質についての理解や、高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに、必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題があります。

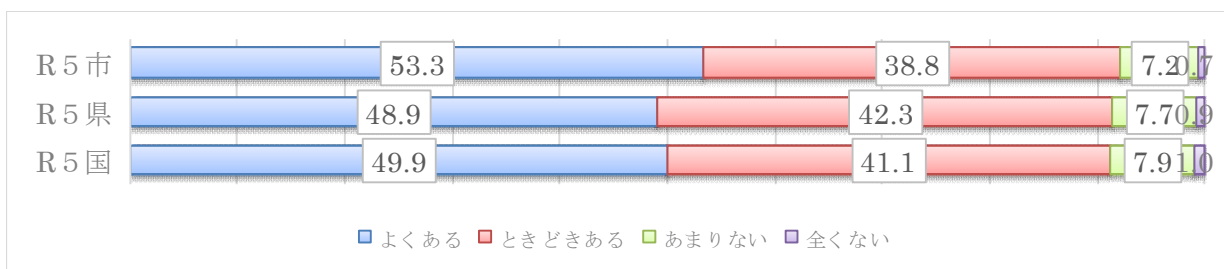
(2) 児童の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の小学校6年生の姿

① 自分を肯定的にとらえている児童が約8割, 幸せな気持ちで生活を送っている児童が約9割います。

自分には、よいところがあると思いますか

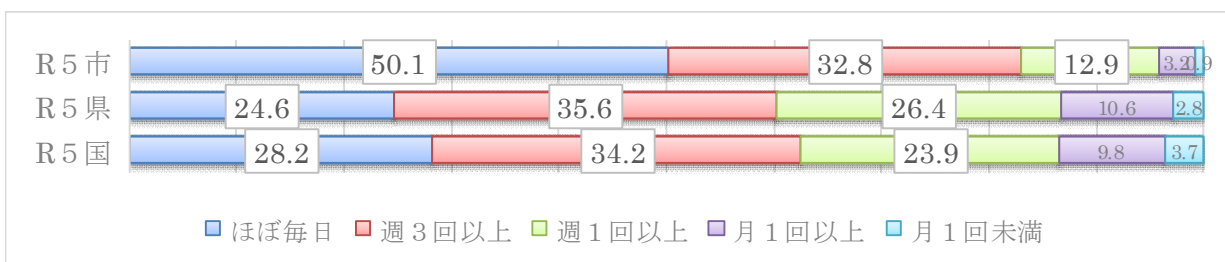


普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

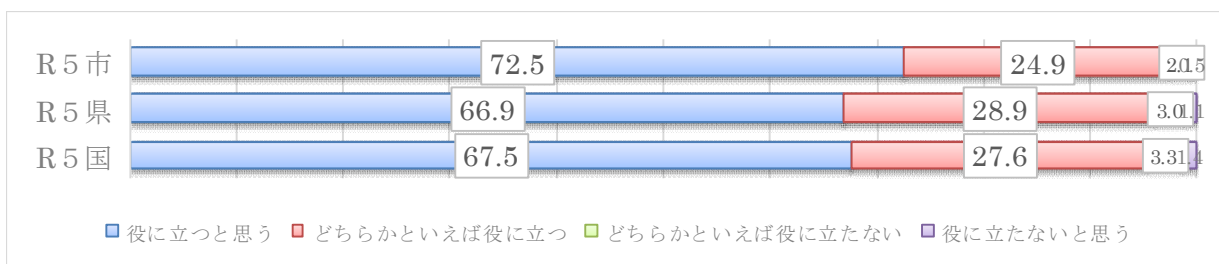


② 一人一台端末や ICT 機器を活用した授業の充実と、児童の学習内容理解や、主体的・対話的で深い学びの充実が図られていると考えられます。

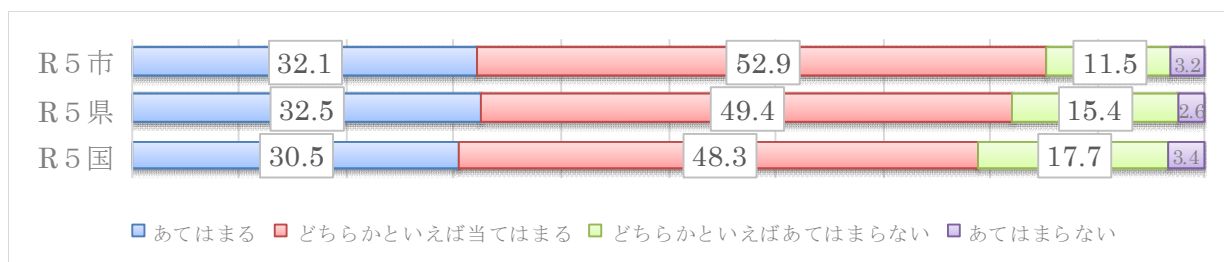
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



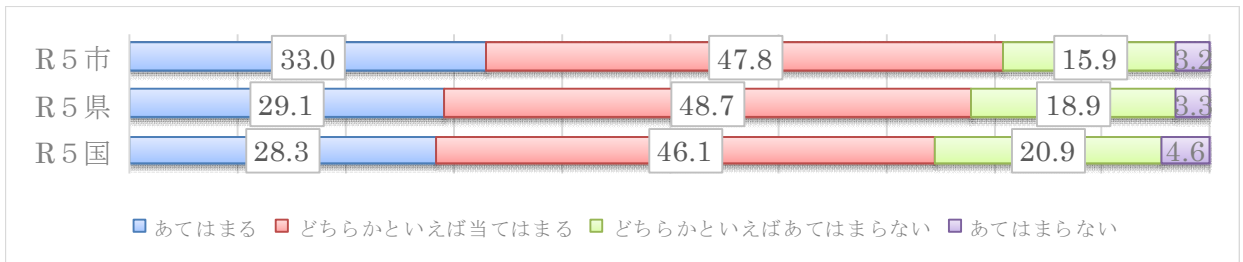
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



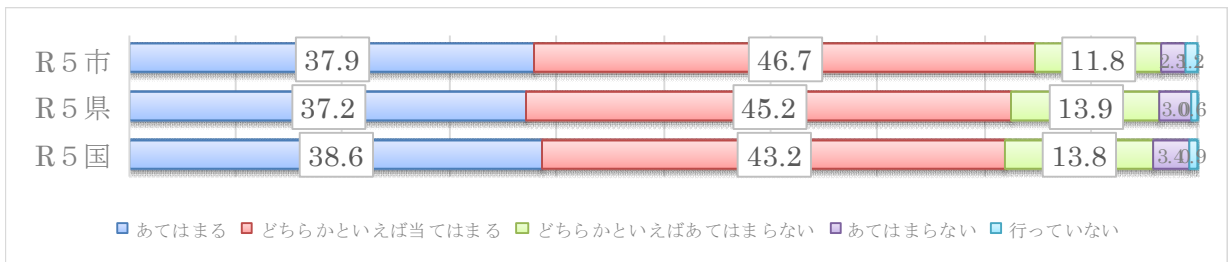
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



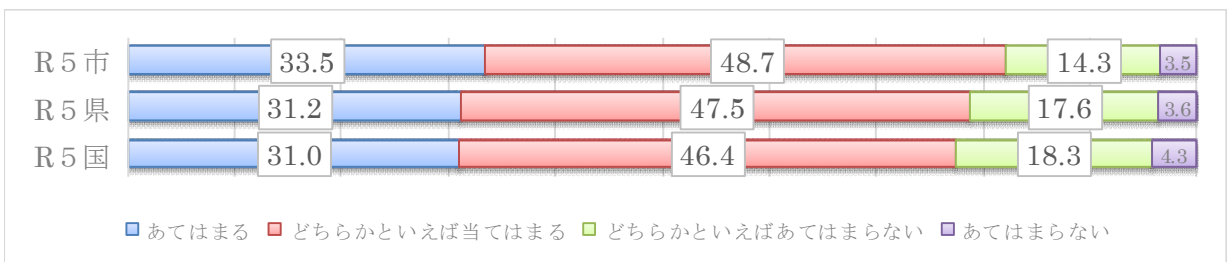
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



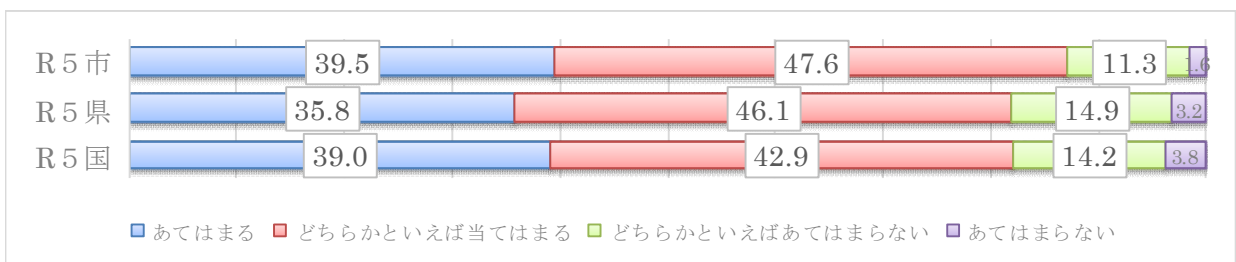
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



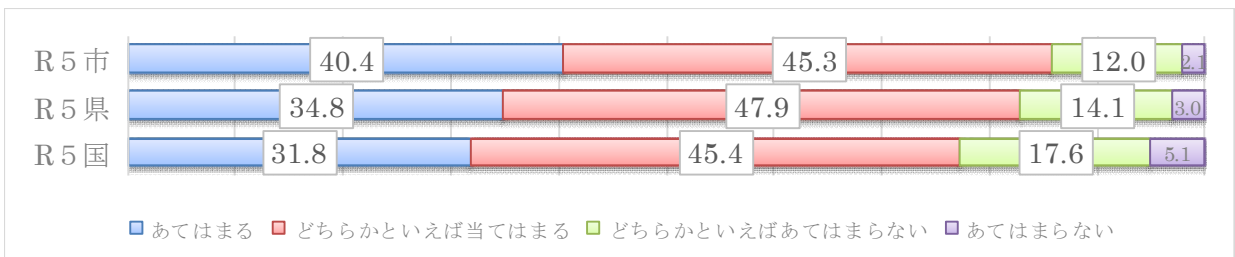
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか



授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか



あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

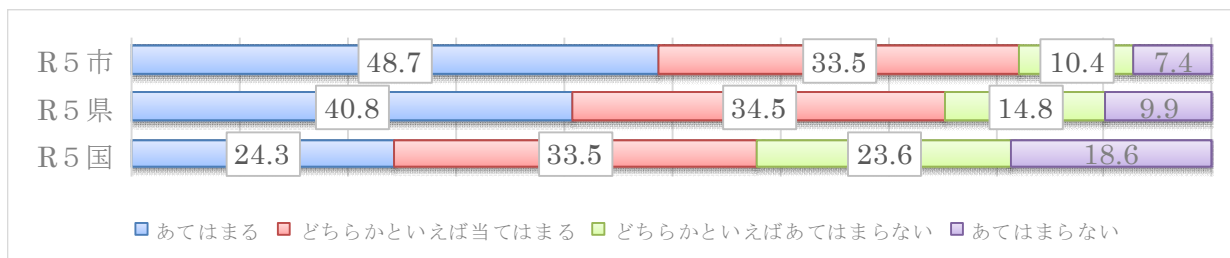


【関連】

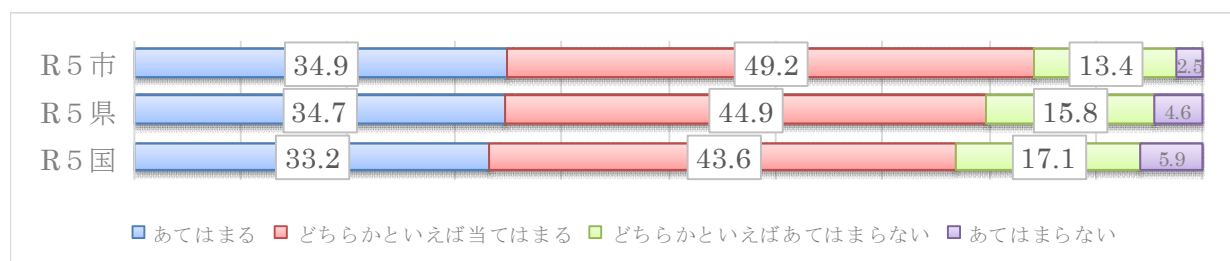
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか。(86.8%)
- ・算数の授業の内容はよく分かりますか。(85.2%)

③ 地域の行事に積極的に参加し、地域や社会をよくするために何かしてみたい、外国の人に自分が住んでいる地域のことをもっと知ってもらいたいなど、ふるさとを愛する児童が多くいます。

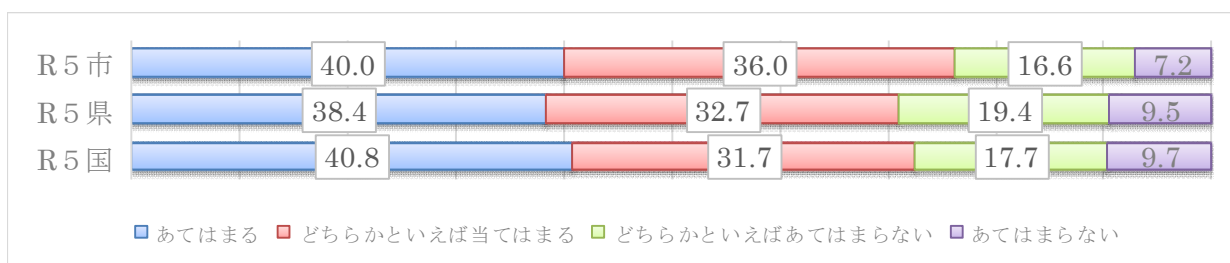
今住んでいる地域の行事に参加していますか



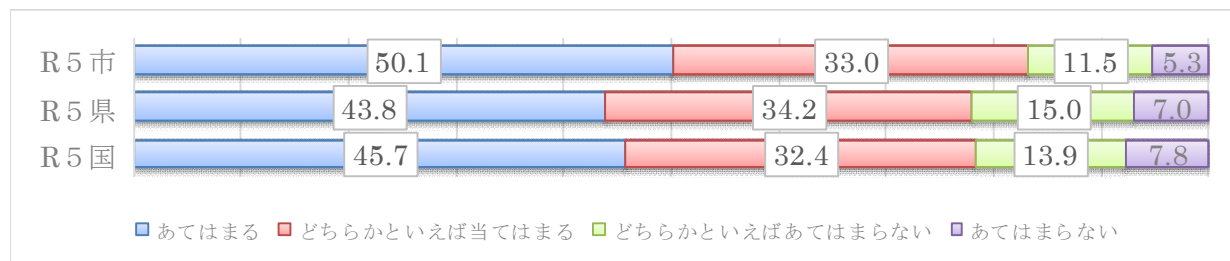
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか



日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各校においては、これまで子供たちの学力や学習状況を把握し学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。

GIGA スクール構想の推進については、一人一台端末を、授業はもちろんのこと家庭での持ち帰りにおいても日常使いができるよう環境整備に努めてきました。生徒たちの授業での活用頻度は国や県平均と比較して非常に高く、「ICT機器を使うのは勉強の役に立つ」との質問に対して、肯定的回答が約97%となっています。自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に有効活用されていることがうかがえます。

また、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動にも、一人一台端末の活用が有効です。友達のことを共有する機能や、友達と協働編集する機能などを使って、自分の考えを広げたり深めたりし、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒の資質・能力の育成を目指していきたいと考えます。

これまで行ってきた次の取組を今後も継続することと、DXが進む中でのAI活用や次期学習指導要領も見据えながら、地道に実践を重ねていくことで、能美市の子供たちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

① 能美市教育委員会と学校が推進していくこと

○ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査は、これからの子供たちに必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。

実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧に分析することで、学校全体で授業改善に取り組み、学力向上を目指します。

○ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

■授業の目標を生徒と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業

■各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業

■自分の考えを持ち、生徒同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業

■思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業

■視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業

■一人一台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが実現する授業

○ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切に、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。子供たちが、笑顔で安心して過ごせる、魅力ある学級・学校を目指していきます。

② 家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

○ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんととることなどは、子供たちが学校生活を生き生きと過ごすベースとなるものです。

規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

○ 節度あるメディアの使い方

ネットは本来利活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れ、いろいろなことがおそろかになってしまいがちです。

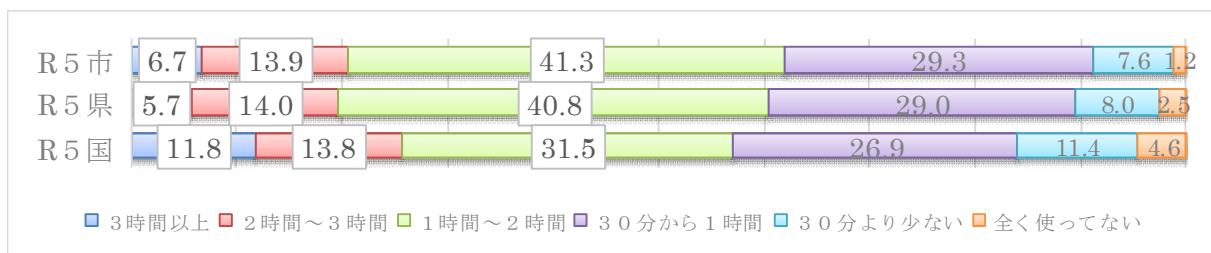
テレビやゲームの時間や、スマートフォンなどの使用に関しては、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合っ規則を決めましょう。

○ 家庭学習の確立

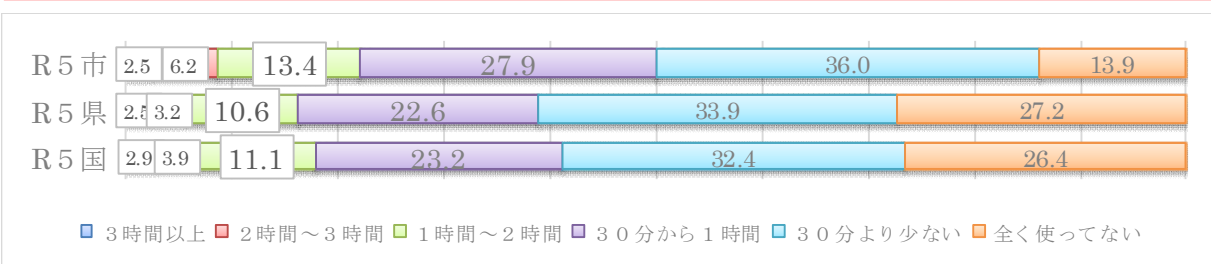
学校での学習内容を身につけるためには、継続した家庭学習が欠かせません。

家で平日、学校の授業時間以外で、勉強時間が1時間以上（1h～）の児童の割合は、約6割でした。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



学校の宿題の他に、タブレットや教科書・ノートを使った授業の予習や、授業での友達と一緒に取組んだ作品や考えに触れ、学びを再度確認したり、自分の学びを振り返ったりして、次の学びに生かしていくと自分で学びを調整する力や理解が深まります。また、AIドリルを使って復習することで、一人一人のつまづきや理解度に応じた問題に取り組むことができます。その時授業で学んでいる内容だけでなく、苦手な教科や単元、習ってから時間が経ってしまった内容など、基礎基本の確実な定着に効果的です。また興味関心に応じて発展的な学習にもチャレンジしましょう。

⇒ 学校で学習した内容を確実に定着させるには、家庭学習を充実させることが大切です。

能美市立小学校では基本的に、1日の家庭学習の目標時間を「10分×学年」以上に設定しています。6年生は「10分×6＝60分」。1時間以上が目標時間です。

テレビやゲーム、スマホの適切な使い方について、家庭でルールを子供と一緒に作り、予習や復習などの家庭学習を充実させ自分で学びを調整する力をつけていきましょう！